

1970年代、難民 1万人定住を認める → 3つのうち 1つが「大和席」



地域住民として外国人をみる。

→ 外国人が医療を

受けるのは大変

1日 15~16人の診療する。

3人=1人が外国人

採血 → 腹をひいてしまう フィリピンの方

待合室 → 子どもがうるさい → 妻が召人がいる。→ 理由を説明して納得してもらう

熱いといふ訴え → 痛いわけをきく

無料でみててくれるところはないか → イスラム 無料でみててくれる病院がある。

皮下埋め込み型避妊用イードラントの抜去依頼 → 日本ではみめられていない治療のため、断る病院が多い。

コインで皮膚を擦るカンボジアの習慣 → 頭が痛い、熱がでると、コインでさす、左右にいれ → きゅうこい

害虫を駆除せらる → イスラムでは宗教的儀式として幼児に行き → 包茎のやり方はX 宗教的なやり方がある。

上座部仏教徒の頭をなでるのはいけない → カンボジア ピヤマーなど 頭をなでられることは嫌い

食事に関する宗教上のタブー → 豚や牛 → 病院食 → 宗教をキーヒトが大切に適切なケアをするために必要と伝える。

冷たい食事は妊娠や胎児の健康に悪いと考えて食べない → 中国系民族的な習慣 → 文化を尊重する

上座部仏教の僧侶に女性が触れるのはタブー → それまでの修業が無になりまして

男性医師によるイスラム教徒の女性の診察 → 配偶者、父親など同一族の立場が上の男性がいい

許可した場合は許される

予約の時間に遅れる、連絡なく来なかつたり… → キャンセルの電話を入れる理由をしゃり伝える。

友人と語り合わせの上、やってくる → フィリピンは、どうに行くとも友人に付き添ってもらう習慣がある。→ おどろかせない

怪しい「こうもり」 → ただの相づち、理解していないとかである

入れ歯 → 東南アジアでは、歯の治療を抜いてしまう。1回である。日本では歯を治してから、何回も通う。治す。歯を抜くと、次のと、他の歯まで悪くなる。

点滴してほしいという要求 → まずは患者と話し合う。

刺青の意味 → 上座部仏教徒は、宗教的な意味を持つ。特にタイ、カンボジア → 痘瘍で死んでしまう

私の血液型は? → 知らない人が多い; → 血液型を調べるには、専用のスピットカプセルを

採血前に血液型の検査も必要か確認する

イスラム教の祈りの部屋 → 入院にも守らなければならぬ大切なこと → 部屋の用意でき山はいい

(宗教を否定しない = 人を否定することと同じ)

出身国薬の使用 → 海外の薬がない!、保険診療 = 1日の薬の量が決められているが!、外国では  
それ以上の量を飲んでいることもありますから希望しても対応できない。

イスラム教では火葬は違法度 → 信仰上の理由から土葬 → 死くなる前に母国へ帰る  
亡くなる途端、故人の口の中にコインを突っ込む → 上座部仏教の習慣

携帯電話の音楽は毎月はじめの受診時に聞く → 変わっていることが多い

出産間近まで受診しない → 妊娠は病気じゃない → 経験の分からない出産は多い → 定期的に

通院すること、情報を手に入れさせる。

サロベス、味の素 → 冷湿布 = サロベスと言う。東南アジア南米。

(ほんの少し) S-GPT の上昇 → 日本ではB型肝炎、C型肝炎。A型肝炎はあまり気にしていない。

食事指導の落とし穴 → 魚や野菜を食べる方に指導だけではX → えびなど油で料理している  
何をどのくらいに食べるとまだ指導しないとX

「ついでに聞きたい」が多い → 本人の治療以外の話が多い

国籍を尋ねることもトラブルになりかねない → 差別? → なぜなのか理由を説明する

付添いの兄、姉、弟、妹は本当の家族か → 親しい年上の女性でも姉と呼ばれる → 具体的に尋ねる

## 小林国際クリニック

1990年1月16日開設。

医師2名 (英語、タイ語、

スペイン語、韓国語)

ペリエーの方が多い。

## 外国人医療を学ぶ

→ 適切な知識を習得しておかないと、無用なトラブルに巻き込まれる。

危機管理のための重要な対策となる。

差別してはならない。

↑  
内外平等原則

} 中長期滞在している人には差別しない。

↓  
外国人であるという理由で加入適用されない  
制度はない。

・ 住民基本台帳

・ 医療滞在ビザの創設

・ 外国人登録法の廃止、など

外国人の方にいらい  
きてほしい。いい玉い

文化を学ぶことが、その人を尊重することにつながると知りました。  
自分の価値感をおしつけたりエクレヒト配慮していかなければなりません。

